

日本の国土	1~2
都道府県の県章・マーク	3~4
地図の記号、もくじ、地図帳の見方・使い方	5~6
地図の見方 (一) 方位・距離・縮尺・等高線	7~8
地図の見方 (二) 地形図の記号、地形図の見方・読み方	9
地球儀と地図	10
日本の地形 (一) 災害と防災、さまざまな地形	11~12
日本の地形 (二) 日本の自然地形	13~14
日本の気候	15~16
日本列島 (一)	17~18
日本列島 (二)	19~20
九州地方 (一)	21~22
九州地方 (二) 資料図	23~24
中国・四国地方 (一)	25~26
中国地方	27~28
四国地方	29~30
中国・四国地方 (二) 資料図	31~32
近畿地方 (一)	33~34
近畿地方 (二)	35~36
大阪市、京都市、奈良市	37~38
近畿地方 (三) 資料図	39~40
中部地方 (一)	41~42
中部地方 (二)	43~44
新潟県	45~46
中部地方 (三) 資料図	47~48
関東地方 (一)	49~50
関東地方 (二)	51~52
関東地方 (三) 資料図	53~54
関東地方 (四) 資料図	55~56
東北地方 (一)	57~58
東北地方 (二)	59~60
東北地方 (三)	61~62
東北地方 (四) 資料図	63~64
北海道地方 (一)	65~66
北海道地方 (二)	67~68
北海道地方 (三)	69~70
北海道地方 (四) 資料図	71~72
日本の鉱工業	73~74
日本の農業	75~76
日本の水産業、日本の人口	77~78
日本と世界の結びつき (一) 交通・通信	79~80
日本と世界の結びつき (二) 貿易	81~82
世界の人口・言語・宗教、日本の自然環境保護	83~84
世界の環境問題	85~86
世界の地形	87~88
世界の気候	89~90
アジア (一)	91~92
アジア (二)	93~94
アジア (三)	95~96
アジア (四)	97~98
アジア (五)	99~100
アフリカ	101~102
ヨーロッパ (一)	103~104
ヨーロッパ (二)	105~106
ユーラシア北部	107~108
アメリカ (一)	109~110
アメリカ (二)	111~112
オセアニア・太平洋	113~114
オーストラリア・ニュージーランド	115~116
世界の生活・文化	117~118
世界遺産	119~120
日本の伝統工業	121~122
日本の生活・文化	123
統計資料、さくいん	124~139
日本と世界の結びつき (三) 海外協力	140
世界の国々	141~142

この地図帳は、地図や写真、統計資料を通じて具体的に地域の特色を読み取り、今まで学んできた社会科学習の基礎を地図帳から総復習することをねらいとして編集しました。この地図帳の構成と使い方は次のようになっています。

1. 地図の見方—作業を通し、地形図を読んで理解しよう

方位・距離・縮尺や地形図の基本を絵や写真、模式図を用いながら説明し、実例や作業を通して身につくようにしています(p.7~9)。

2. 日本の各地方の地図—地図の記号を知って地図を活用しよう

地図帳の基本となるこの地図を十分活用できるようになってください。そのためには5ページの地図の記号の意味を知ることが重要です。記号の意味を知って地図をみると、地図はさまざまな知識と情報を与えてくれます。

土地利用で表現した地図ですので、それぞれの地方の産業やくらしのようすをつかむことができます。また、重要な歴史地名はむらさき色でわかりやすくしています。

3. 日本の各地方の資料図—「変化」を知り「比較」しながら基礎事項を確認しよう

ここに掲載されている農業・工業をはじめとするその地方の資料図を読むときには、その背景となる自然のようすや位置など基礎的な事項を知ることが重要です。このために資料図の最初には「山地・丘陵」と「平地」を大きく分け、基本的な地名・自然地域名称を入れて、さらに雨温図と断面図を付した地図をのせました。この地図と他の資料図とを結びつけて活用してください。

とくにここでは「変化」や「比較」など、地図を読む際にたいへん重要なことが、具体的にわかるようにしています。

(例：p.24⑤図「北九州工業地帯の変化」、p.24⑦図「干拓と埋め立てのちがい」、p.32⑤図「養殖と栽培漁業のちがい」、p.48⑩図「諏訪湖付近の工業—製糸業から精密工業へ—」など)

4. 日本全体の資料図—今日的な動きを知ろう

日本の地図と資料図の後にあります。ここでは日本各地方で学んできたことをふまえて、鉱工業、農業、水産業、人口というように事項ごとに日本全体をまとめ、さらに世界との結びつきがわかる基礎的な地図・グラフをのせています。

日本の自然環境保護など、これからの私たちのことを考えるためのテーマもここで取り上げました。

5. 世界の地図—世界の大きな地形のようすを読み取ろう

世界の地図は等高段彩表現にしていますので、各地域の大きな地形のようすを読み取ることができます。また、日本の地図と同様に、重要な歴史地名はむらさき色でわかりやすくしたほか、おもな世界遺産についても示しています。

6. 統計資料

基礎的な統計資料をグラフ表現なども取り入れて示しています。地図の活用には統計数値で確認することも重要です。このページも参考にして学習してください。